

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (123) 岡田 清 治



■プロフィール

著者：岡田 清 治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込む
ことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】人々が必死に働いている(著者撮影)

ドラマは続く

二人は話題と言はばコロナのことばかりだ。

「それなのに聖火リレーはやるし、緊急事態宣言、飲食店の時短も解除するし、一方で患者が増加を続けている。世の中カオス(混沌)状態になっている。国民もどう行動したらいいのか戸惑っている。季節もよくなれば外へ出て活動するのはいたしかたないと思う。東京や関西、さらに愛知福岡も加えられて三回目の緊急事態宣言を发出するなど混乱している」

「ワクチン接種ができれば本当にコロナ患者は減るのじゃないか」

「それは海外でも実証されているようだね」

「専門家の意見によりますと、減つても完全にゼロにはならないから、マスク、消毒の生活は続けなければならぬと思う」

「面倒なことだが、そうだろうな。花粉症やインフルエンザが流行る時期は、多くの人が予防対策するように、コロナについても数年間は予防対策が必要だろう。ワクチンだつて、効果の持続期間によつては、あるいは変異種によつて一年に何回も打たないといけないだろう」

「どういふことでは、ワクチンの国産化を進めないといいないですね」

「昨日、友人から次のようなメールが届いた。読んでみるかい」

「ぜひ、読ませてください」

真三は、パソコンを立ち上げメール画面を開き、るり子に見せた。

「日本の医療から見えてくるもの、恐れを抱いた心では、何と小さいことしかできないことでしょうか」

「いま、新型コロナウイルスの接種で話題沸騰している。量の確保、接種遅れや、副反応等の不安が消えない。そもそも医療水準が世界のトップレベルと言われてきたのに、どうして国産ワクチンができないの?という疑問が出ていた。また、ベッドの数が世界一、医師の数も少なくないのに医療現場はコロナ患者の増加で逼迫していると医療関係者は口を揃える」

パンデミックでなぜ日本の医療の脆弱性が表面化したのだらうか。ここからは推測になるが、医療に備かる職業とみられ結婚相手に医師を選ぶ傾向が強い。医業メーカーや大学等の研究機関もワクチンはコストだけかかつて儲からない上に、ワクチン訴訟がトランプになって消極的になっているようだ。

日本人の多くがカネまみれになっているように見える。子供が交通事故を起こすとアメリカの親は「次からは気をつけなさい」というが、日本では「もう二度とクルマに乗らないで」と、挑戦意欲に差異が出ると言われる。どうも日本ではリカバリーチャンスが希薄で、すべてのベクトルがカネ亡者に向かつているように見える。このままの状態では三等国に成り下がるのも近い。

「本当にそうですね」

「オンライン開催まで、政府も不安だろうな」

「これからどうなるか、心配ですね」

「よほどことがない限り実施するだろう」

「ばちばち小説を読むよ」

るり子はコピーカッパをお盆に載せて書斎を出ていった。

真三はまた、小説に向かった。

山城相銀では原三郎に顧問料二百万円、交際費四百万円、融資指導料四百万円の計千万円を渡している。その上に今回一千万円を取られた。その代わり心配された総会は一〇分を片付けた。

片桐が社長に就任して間もないうちに、河原町支店の不正事件が発覚した。不正事件委は暴力団幹部も絡んでいるとみられ、京都府警捜査二課、同四課、中立署が責任、恐喝疑で本格捜査を始めた。京都新聞は伝えている。

河原町支店長の堀井富雄(42)も原会計事務所の指導を受けていた。原を通じて京都市内の建設会社社長Aさん(35)の融資を頼まれ本店審査部へ相談せず担保も確認しないまま、Aさん振り出しの手形の裏書き保証して不渡りを出した疑い。その後も六埋めするため、数回にわたり裏書き不正融資額は三千万円に達した。片桐は不正融資を知るか、河原町支店長の堀井にただちに懲戒免職を言い渡した。橋本専務、すぐ大阪へ行って近畿財務局に報告してくれた

「わかりました」

「頼むよ」

「警察はどうしたいでしょう」

「財務局の判断に任せよう」

河原町支店の不正融資事件の発覚後、一週間もたない木曜日の午後四時、取締役役に就任して間もない秋元を片桐は社長室に呼んだ。十条温泉の融資について追及している。「実は、一億円の融資をするように、原から頼まれています。今夕その返事の期限なのですが」

「断りなさい。僕は原を告訴する。すでに近畿財務局にも相談している」

「……」

「河原町支店に続いて、君のところが不正融資したとなると、当行も終わりだ」

「でも、断りますと原顧問に殺られます。顧問は狂気の沙汰なので、何をするかわかりません」

「君がまた種なんだから。僕は一緒に死んでもいいんだが……総務部長の金山君が行くと言っているので安心したら、ええ」

「私がまた種?、どういふことでしょうか」

「そうじゃないのか。原初子を原三郎に紹介したことを忘れたのか」

「原初子がどうしたのですか」

「原初子が当行の株式三〇万株を原三郎のところへ持つて行ったんだよ。だから、君も役員になれているんだよもし、あの時、原の要求を断ればお家騒動になり倒産したかもしれないんだ」

「まさか。初子がどうして三〇万株も……」

秋元は初子を抱いた夜のことを思い出そうとしていた。

「秋元さん、ハラサプロウで誰?」

「あなたは、晩中、ハラサプロウの名前を寝言で言っていたものだから、うるさくて眠れなかったのよ」

「そうか。それはすまん。大切な人なんだ。原さんから毎日のように電話で山城相銀の株をもっと集めろといわれているものだから……」

「そんなに大事な人なの。」

「もういいじゃないか。」

「そうね、お風呂にはいつてくるわ。」

「そうか。あれ以来原三郎から株式集めの催促の電話が止まった。初子の仕事だつたのか」

秋元と金山の二人はタクシーで河庄双園に約束の午後七時につけた。玄関を入ると、原がいつも使う部屋に通された。若者数人が原の周囲に座っている。時々、笑い声が聞こえる。

原はすでに相当酔っている。部屋に案内された二人に盃をすすめる。先ほどは、キヤキヤと笑っていた若者らも、ある種の緊張ムードを敏感に嗅ぎ取つていまは黙って成り行きを見守っている。

「原さん、すみません。融資はきまへん」

秋元は座布団を横に置きなおし、原の前で顔をすすりつけて詫言た。

「なんだと」

原はふらつきながら立ち上がったと思うと、自分の臍を秋元めがけて蹴った。次の瞬間、秋元の額が血でにじんだ。若者らはキヤツという声を上げながら部屋を飛び出していった。金山が原をなだめるように体を抱え抱えるが、原は青ざめた顔を金山に押し付けてきた。

「片桐に伝えておけ。ただではすまんぞ——と」

捨て台詞を残して原は千鳥足で部屋から出ていった。

ここまで読んでくると、るり子が書斎に入ってきた。

「服されたらどうですか」

「ううう。お茶を入れてくれるか」

「わかりました」

そう言つて、るり子はキッチンに戻り、お茶を盆にのせて、再び書斎に入ってきた。

真三は「口」に連んだ。

るり子は心配顔で話した。

「舞さんも、裕美さんからも連絡がありませんね」

「連絡がないという事は無事だろうという知らせだろう」

「そうすけど、インドのコロナ感染も大変なようです」

「テレビで放映されるのは、極端な密集場面ばかりだから、あれでは感染が広がると思ってしまうな」

「確かに日本の密集とは規模も密度度もケタ違いに見えます。舞さんのおられるバンガロールですか、どうなんだろうね」

「あそこは国際都市だから、無秩序ではないとは思いますが……」

「どうですか」

「インドの人口も日本の一〇倍以上だけど、日本の感染者数は増えていないと言っているじゃないか」

「やはり衛生意識が高いからでしょうか」

「変異ウイルスがやっかいだね。すでに関西や宮城、後に解除では急拡大しているのも、変異ウイルスのためだといわれている」

「東京や名古屋も時間の問題ですか」

「競泳の池江璃花子選手が白血血から復帰して東京オリンピックのメドレーリレーの代表に内定した。すごい朗報だよ」

「そうですね」

「こういうニュースは国民に元気をくれるね」

二人はしばらく雑談を続けた。

私の出会った作品 (61) 杉本武之

◎辻潤
無名だった宮沢賢治を高く評価して、その名を最初に公に知らしめたのは、辻潤という世にも不思議な人物であった。

宮沢賢治の詩集『春と修羅』は、大正13年(1924)4月20日に刊行された。自費出版で、発行部数は千部であった。詩集に対する反響は全然なかった。ところが、2カ月ほど経った6月23日、読売新聞に掲載された辻潤の「情眼洞妄語」で『春と修羅』が絶賛されたのだ。

「宮沢賢治という人は何処の人だか、年が幾つなのだか、何をしている人なのだか、私はまるで知らない。しかし、私は偶然にも近頃、その人の『春と修羅』という詩集を手にした。近頃珍しい詩集だ。私は勿論詩人でもなければ、批評家でもないが、私の鑑賞眼の

程度は、もし諸君が私の言葉に促されてこの詩集を手にとせられるなら直ちに分かる筈だ。私は由来気まぐれで、甚だ好奇心に富んでいる。しかし、本物と二セ物の区別くらいはできる自信はある。

この詩人は全く特異な個性の持ち主だ。芸術は独創性の異名で、その他は模倣から成り立つものだが、情緒や、感覚の新鮮さが失われていたのでは話にならない。

もし私がこの夏アルプスへでも出掛けたら、『春と修羅』を忘れて『春と修羅』を携えることを必ず忘れはしないだろう。



『辻潤』

辻潤は、明治17年(1884)10月4日、東京の浅草向柳原で父・六次郎と母・芙津の長男として生まれた。父は下級官吏であった。

明治23年、育英尋常小学

に学んだ。

明治32年、神田の正則国民英学会に入った。内村鑑三の著作に親しんだ。

明治36年、千代田尋常高等小学校の助教員になった。翌年6月、検定試験を受けた。

大正2年9月、長男の(まこと)が誕生。

大正4年1月、野枝は『青鞥』の編集・発行人となる。8月、次男の流二が誕生。

大正5年3月、『青鞥』が終刊になる。4月、野枝は流二を連れて家を出る。

流二を里子に出し、大杉栄と同棲する。辻は上野の寛永寺に身を寄せる。

大正12年9月1日、川崎で関東大震災に遭遇する。9月16日、大杉栄と伊藤野枝が甘粕憲兵大尉に虐殺されたことを大阪で新聞の号外を見て知る。

昭和3年1月、読売新聞社のバリ文芸特置員として長男のひととフランスに行く。昭和7年2月、天狗になつて屋根から飛んだという噂が広がる。中学の同級生だった斎藤茂吉の経営する青山脳病院に入院する。その後、長期に亘って、菅笠、頭陀袋、腰に尺八と手拭い、赤い鼻緒の下駄という姿で日本各地を放浪する。昭和19年11月24日、淀橋区上落合の空き家となったアパートで餓死し、翌日、発見される。弟の義郎、次男の流二によって染井の西福寺に葬られる。辻潤が常に心から信頼していた長男のひとは従軍中であつた。

◎「ふもれすく」

大正12年9月16日に憲兵大尉・甘粕正彦によって大杉栄と伊藤野枝が虐殺されました。「ふもれすく」は

辻が伊藤野枝について『婦人公論』に書いたエッセーです。

辻潤は、関東大震災の後、10日ほど野天生活をしてから、老婆と長男の一を妹の所へ預けて大阪に出た。そして1週間ほど大阪にいた。

「夕方、道頓堀を歩いている時に、僕は初めてあの号外を見た。地震とは全然異なつた強いショックが僕の脳裡をかすめて走つた。それから僕は何気ない顔付きをして俗謡のある一節を口ずさみながら朦朧とした意識に包まれて夕闇の中を歩き続けた」

辻と野枝は、上野高等女学校で師弟として出会つた。野枝は18歳で5年生、辻は28歳で英語の教師であつた。「野枝さんは学生として模範的じゃなかった。だから成績も中位で、学校で教えることなどは全体頭から軽蔑しているらしかつた。もし僕が野枝さんに惚れたとしたら、彼女の文学的才能と彼女の野生的な美しさに引き付けられたからであつた。

女の家が貧乏なために、叔父さんの差し金で、ある

金持ちの病身の息子と強制的に婚約をさせられ、その男の家から学費を出してもらつて女学校に通つて、卒業後の暁はその家に嫁ぐべき運命を持っていた女。自分の才能を自覚して、それを埋没しなければならぬ羽目に落ち入っていた女。恋愛抜きで結婚。

卒業して国へ帰つて半月も経たないうちに飛び出し、きた野枝さんは、僕のところへやつて来て身の振り方を相談した。ひとまず野枝さんを教頭のところへ預けることに決めた。

一番神経を痛めたのは校長で、もし僕があくまで野枝さんの味方になつて尽くす気なら、学校を辞めてやらやつてもらいたいと早速切り出してきた。いかにももつとも千万なことだと思つて、早速学校を辞めることにした」

その後の二人の生活については省略します。略年譜を読んで下さい。

最後に辻潤は伊藤野枝について次のように書いています。

「野枝さんは、子供の時に良家の子女として教育さ



れ、もつと素直に円満に、いじめられずに育つていたら、もつと十分に彼女の才能を伸ばすことが出来たのかも知れなかつた。不幸にして変則な生活を送り、はなはだ変則に有名になつて、浅薄なバニティーの犠牲になり、煽て上げられて、向こう見ずになつた。強情で、ナキ虫で、クヤシがりやで、ヤキモチ屋で、ダラシがなく、経済観念が欠乏して、野性的であつた野枝さん。しかし、僕は野枝さんが好きだつた。野枝さんの生んだまこと君はさらに野枝さんよりも好きである。野枝さんにどんな欠点があろうと、彼女の本質を僕は愛していた」

少人数での家族葬専用ホール

大阪屋リビング 常滑

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

常滑ホール | 鬼崎ホール | 阿久比ホール

TEL 0569-35-4949

●わーくわーく知多協力店 ●自治労常滑市職員労働組合協力店

大阪屋葬祭 | 検索

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380
TEL 0569-73-6341

この指とまれ (304) 氏原朝信

昭和55年度常滑西小学校二年二組「どろんこ」

教育実習生(3)

秋の遠足

10月15日(水) H・稚子⑥

あしたは遠足だから、あしたも天気だといふなあ。早くねよう。

10月16日(木) H・稚子⑥

日長神社へ遠足に電車で行きまし。

たんけん宝さがしが おもしろかつたです。

宝さがしは、カードが

なかなか見つかりませんでした。歩いていたら、あまつたからと言って、1こくれました。

うれしかったです。



おいしい弁当



木のぼつて遊ぶ!



10月17日(金) M・浩次③
きのうの遠足で木のぼりをした時、たつやくんが木の先までいったことをかきました。

きのうの遠足で木のぼりの絵をかいたら、福田先生がうまいって言ったけど、「ちよつとへんだ」とも言っていました。

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 台湾そば3めし(ルーローハン)

なかなか海外旅行に行けませんが台湾で食べたあの味を家庭で再現してみませんか?

【4人分】

材料

- ① 豚ひき肉.....400g
- ② 生姜.....1片(みじん切り)
- ③ 五香粉.....適量
- ④ 卵.....4個(水から入れて18分ゆで、冷水で冷やし殻をむいておく)
- ⑤ チンゲン菜.....1束(サツとゆでて水にさらし、食べやすい大きさに切る)
- ⑥ サラダ油.....適量
- ⑦ オイスターソース.....60cc
- ⑧ しょうゆ.....60cc
- ⑨ 酒.....60cc
- ⑩ 砂糖.....大さじ4
- ⑪ 水.....300cc

作り方

- フライパンに②③を入れ、弱火で香りがでるまでじっくり炒める。
- ①④を入れ炒め、ひき肉の色が変わってきたら⑤を入れよく炒める。
- ②③を加え、さらによく炒める。⑥を加え全体を混ぜ、⑦を加えふたをして中火で煮る。途中⑧をころがし味を煮含めながら5分程度煮る。
- 皿にご飯を盛り、⑨をのせて煮汁をかけ、⑩⑪を盛りつける。

いべんと

常滑市民文化会館

▼常滑シンフォニックウィンドズ 第39回ファミリーコンサート・十一日(日) 開場 午後一時三十分 開演 同二時(同四時) 入場無料 問合せ 常滑シンフォニックウィンドズ ☎43-5244

▼Andante ピアノコンサート・十八日(日) 開場 午後一時四十分 開演 同二時五十分(同五時二十分) 入場無料 問合せ Andante 音楽教室 ☎090-1749-6810(井上)

展示室

あなたのギャラリー

▼書道あしたば作品展・二日(金) 午前九時(午後九時半(最終日午前十一時半まで)) あなたのギャラリー 問合せ 書道あしたば ☎34-2388(柴田)

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十四日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十五日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十六日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十七日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十八日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十九日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十一日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・一日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・四日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・五日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・六日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・七日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・八日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・九日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十一日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十二日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十三日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十四日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十五日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十六日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十七日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十八日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十九日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十一日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十二日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十三日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十四日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十五日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十六日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十七日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十八日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十九日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十一日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・一日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・四日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・五日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・六日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・七日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・八日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・九日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十一日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十二日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十三日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十四日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十五日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十六日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十七日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十八日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十九日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十一日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十二日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十三日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十四日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十五日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十六日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十七日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十八日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十九日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十一日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・一日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・四日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・五日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・六日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・七日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・八日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・九日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十一日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十二日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十三日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十四日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十五日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十六日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十七日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十八日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十九日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十一日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十二日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十三日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十四日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十五日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十六日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十七日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十八日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十九日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十一日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・一日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・四日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・五日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・六日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・七日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・八日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・九日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十一日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十二日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十三日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十四日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十五日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十六日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十七日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十八日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・十九日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十一日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十二日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十三日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十四日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十五日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十六日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十七日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十八日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十九日(火) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十日(水) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三十一日(木) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・一日(金) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二日(土) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・三日(日) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・四日(月) 午前九時半(同十一時 第一展示室 問合せ 常滑地区伝統文化いけばな親子教室 ☎052-3218985

▼常滑地区伝統文化いけばな

わが家のニューフェイス



小林^{れんと}蓮叶(5才) るあ(2才) 莉^り桜^{おな}菜(8才) 美浜町

	に	る	い	パ	し	う	さ	う
写真・文	強	あ	る	パ			み	
	く	を	あ	バ	い	バ	し	あ
	て	守	い	お		ー	い	ま
	か	れ	だ	仕	ば	ベ	け	り
	っ	る		事	い	キ	ど	帰
	こ	よ	ぼ	を	あ	ム		っ
	い	う	く	が	そ	ー	パ	て
	い	に	は	ん	ん	や	パ	こ
小林	男		マ	ば	で	花	が	れ
	に	パ	マ	っ	も	火	帰	ん
	な	パ	と	て	う	も	っ	と
絢香	ま	み	り	く	う	し	て	で
	ぞ	た	お	れ	ん	た	ぎ	す
	!!	い	と	て	だ	い	た	は

	お	ぼ	小	
	仕事	く	林	ぼ
	を	の	れ	く
	し	パ	ん	の
	て	パ	と	名
	い	は	です	前
	る			は
	か	船	°	
		で		

愛と *My Family*



生野^{さわ}沙和(6ヶ月) 詠^{えい}大^た(2才) 常滑市

	和	れ	と	た	イ	く	沙	り					
写	ち	し	声	り	顔	泣	和	回	乗	な	男	僕	
真	ゃ	く	を	、	に	く	ち	っ	っ	青	の	は	
・	ん	な	出	車	な	け	ゃ	て	て	色	子	え	
文	と	り	し	の	り	ど	ん	い	家	の	で	い	
	い	ま	て	お	ま	笑	と	ま	の	マ	す	た	
	っ	す	笑	も	す	う	い	す	周	イ	。	!!	
	は ^o	。	っ	ゃ	。	と	妹	。	り	カ	大	元	
	い	大	て	で	僕	と	が	そ	を	ー	好	気	
生	遊	き	く	で	が	っ	い	し	走	に	き	な	
野	び	く	れ	遊	ジ	て	ま	僕					
	た	な	る	ん	ヤ	も	す	に					
友	い	っ	の	で	ン	カ	。	は					
香	な	て	で	い	フ	ワ							
	♪	沙	う	る	し	イ	よ						

平日のみのお勤め可能です!!

あかい新聞店では 一緒に働く仲間を 大募集しています!

**未経験
大歓迎**

朝刊 配達

自転車またはバイクで新聞の配達をするお仕事です。

勤務時間	AM3:00～(1～2時間)	休日	月4日以上
給与	月給 30,000円～50,000円 (配達部数によって変わります)		

夕刊 配達

月～土、週6日。自転車またはバイクで新聞の配達をするお仕事です。

勤務時間	PM2:00～(1時間程度)	休日	日・祝日
給与	月給 25,000円～ (配達部数によって変わります)		

集金 業務

新聞購読者の各家庭を回り、新聞購読料を徴収するお仕事です。

勤務時間	決められた期間内に終わらせてください
給与	集金件数によって変わります

働きやすい5つのポイント

服装・ 髪型自由!	アットホームな 職場です!	バイク、 自転車 貸します!	正社員として 活躍できる チャンスが あります!	お休みの 相談が しやすい!
--------------	------------------	----------------------	-----------------------------------	----------------------



詳細は**担当 赤井**まで
気軽にお問合せください

中田新聞
あかい新聞店

武豊 0569 (72) 0356
常滑 0569 (35) 2861

行政機関等をかたった
なりすまし にご注意！

ワクチン接種は**無料**です！

接種を受ける際の費用は全額公費です

電話・メールで**個人情報**を求め
ることはありません！

市町村から「接種券、接種のお知らせ」が届きます

全国的に**新型コロナ**のワクチン接種に関連した詐欺の前兆電話が発生しています

犯人は、役所等になりすましたり、もっともらしい理由をつけてだましてきます！

不審な電話等があった際は、一人で悩まず、家族等に相談しましょう

常滑警察署